

伊豆 三島 三五度〇七分三〇秒

八丈 三五度〇六分三〇秒略

東西里差

山城 京 〇度〇〇分〇〇秒略

伊豆 下田 東三度〇九分二九秒

疆域

〔增訂豆州志稿一〕疆域

伊豆者出也、南海ニ突出ヅ、故ニ以テ州ニ名ク略、中 東西南三面至海、北接駿相二州、南北二十三里

許、東西十一里餘略、註 東北方相州足柄下郡下ノ疆界ハ、伊豆雄山ノ東方門川一名千歲ヨリ役行

者役行者ノ石像アルニ至ル、見通州界也、亦神領也北ヨリ一線ノ山脊路ヲ界トシ、石原坂ノ表木ニ至

ル、表木ヨリ蘆湖ノ西ノ山脊通、山伏嶺三國山君澤郡伊豆佐野村ニ屬スニ至ル、西北ハ大溪瀧溪ノ二溪、茶島

村駿東郡上ニテ合流シ、以下ヲ界川ト云、幸原村ヲ經テ三島ノ千貫樋下ヲ過ギ、長伏村ニシテ狩野

川ニ注クマデ、駿州駿東郡ト凡テ此川ヲ界別トス、サレドモ近世幸原ニシテ、水盡ク東ニ決シ、西

チ界トス、長伏村ヨリハ狩野川界タリ、江間村ニ至テハ、駿州大平村口野村トノ間連山岡脊界ナリ、海

濱ハ、重寺村ト駿州口野村トノ間ニ犬潛ト云處ヲ分界トス、略、註 按ニ古昔相州トノ疆界ハ、箱根

山脊通ヲ北ニ指シ、今箱根驛ノ三島町ト小田原町トノ間ヨリ、湖水ノ中通ヲ豆駿相ノ分界トス、

略、註 稻葉氏小田原侯タル頃疆界今ノ所ヘ移ル由ナリ、善隣國寶記ニ、應永戊申、源道詮、求一切經

於朝鮮國、書曰、吾州伊豆州、秦籙山東福教寺、東方之靈區也ト、又相模風土記曰、西限湯之瀨山ト、湯

之瀨山トハ蘆湯山ノ山ナルベシ、但箱根權現ノ相模ニアル諸書ニ明也、豈時代ニ因リ、其邊伊豆

ニ屬セシ事モ有ンカ、略、註 北方ハ古ヨリ境地少ク、盛シト見ユ、伊豆佐野ノ北方一里許ニ問答山

アリ、管テ二州山訟アリシ、是古ノ分界也ト云、甲陽軍鑑等ニ、伊豆境深澤城新莊城ナドアルハ、小

ノ事多ク、疆界大ニ錯亂スルナリ、